

平成24年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 創通

コード番号 3711 URL <http://www.sotsu-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 建彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 出原 隆史

TEL 03-3248-0311

四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第2四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第2四半期	8,699	22.7	1,657	83.0	1,681	79.2	882	101.7
23年8月期第2四半期	7,090	9.5	905	25.3	938	23.5	437	△5.5

(注) 包括利益 24年8月期第2四半期 995百万円 (70.8%) 23年8月期第2四半期 582百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第2四半期	111.40	—
23年8月期第2四半期	106.76	—

(注) 平成23年3月1日付で1株につき2株の株式分割を実施しておりますが、平成23年8月期第2四半期の1株当たり四半期純利益につきましては当該分割を勘案していない数値となっております。詳細につきましては3枚目「(株式分割に伴う遡及修正値)」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年8月期第2四半期	16,546		13,098		77.6	
23年8月期	15,868		12,492		77.4	

(参考) 自己資本 24年8月期第2四半期 12,837百万円 23年8月期 12,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	—	—	30.00	30.00
24年8月期	—	—	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,200	13.8	2,160	25.3	2,200	25.2	1,150	23.4	145.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年8月期2Q	8,000,000 株	23年8月期	8,200,000 株
② 期末自己株式数	24年8月期2Q	162,669 株	23年8月期	262,655 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年8月期2Q	7,919,435 株	23年8月期2Q	4,096,846 株

(注)平成23年3月1日付で1株につき2株の株式分割を実施しておりますが、平成23年8月期第2四半期の期中平均株式数につきましては当該分割を勘案していない数値となっております。詳細につきましては3枚目「(株式分割に伴う遡及修正値)」をご覧ください。

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しておりますが、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

**(株式分割に伴う遡及修正値)**

当社は、平成 23 年 3 月 1 日付で 1 株につき、2 株の割合で株式分割を行っております。

当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の、平成 23 年 8 月期の 1 株当たり情報は以下のとおりです。

連結経営成績(累計)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 8 月期第 2 四半期	111.40	— —
23 年 8 月期第 2 四半期	53.38	— —

発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む)	24 年 8 月期 2Q	8,000,000 株	23 年 8 月期	8,200,000 株
②期中自己株式数	24 年 8 月期 2Q	162,669 株	23 年 8 月期	262,655 株
③期中平均株式数(四半期累計)	24 年 8 月期 2Q	7,919,435 株	23 年 8 月期 2Q	8,193,692 株

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年9月1日～平成24年2月29日)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受け大きく低下した企業の生産活動が徐々に回復傾向をみせ、また世界的な株価の低迷及び円高も緩やかに持ち直しつつありますが、欧州の財政不安や原油の高騰等懸念すべき課題も多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループでは、中核事業であるアニメーション番組のプロデュースにおいて、より良い作品の企画・放送枠の提案により、新たなスポンサー開拓を含めた営業活動に注力するとともに、新たな二次利用の市場を開拓し、アニメーションキャラクターの著作権ビジネスを拡大するという方針のもと、事業展開を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,699百万円(前年同期比22.7%増)、営業利益1,657百万円(前年同期比83.0%増)、経常利益1,681百万円(前年同期比79.2%増)、四半期純利益882百万円(前年同期比101.7%増)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### (メディア事業)

メディア事業におきましては、10月よりスタートした大型プロジェクト「機動戦士ガンダムAGE(エイジ)」に係る放送事業及び関連するキャラクターグッズの販促・プロモーションに注力してまいりました。さらに継続番組である「それいれ!アンパンマン」「カードファイト!!ヴァンガード」「ジュエルペット サンシャイン」「探偵オペラ ミルキィホームズ 第2幕」等のプロデュース・取扱を行い、中核のアニメ事業が好調となったこと及びキャラクターグッズ、特にゲーム関連のテレビスポットCMの受注が好調であったこと等により、前年同期の売上高を上回り推移しております。

また、大型投資作品の償却が集中した前年同期に比べ、当第2四半期連結累計期間はアニメ映画の公開が後ろ倒しになる等の理由によりコンテンツ投資の償却額が大きく減少し、反動による短期的な営業利益の増加が発生いたしました。さらに、子会社株式会社ジェイ・ブロードにおいては、新卒採用活動開始時期が変更され、企業の採用広告が12月に短期集中するという事業環境の変化により、前年同期の営業利益を押し上げる要因となっております。

この結果、メディア事業の売上高は6,459百万円(前年同期比24.5%増)、営業利益708百万円(前年同期比154.2%増)となりました。

#### (ライツ事業)

ライツ事業におきましては、「ガンダム」シリーズにおいて家庭用ゲームソフト、アーケードゲーム、ソーシャルゲームに係る著作権収入が大幅に増加したことが、前年同期の売上高を上回る主な要因となっております。また、「ガンダム」シリーズ以外でも昨年放送の「花咲くいろは」「ゆるゆり」の著作権収入及び「カードファイト!!ヴァンガード」等放送中の著作権収入が好調に推移し、売上高増加の要因となっております。

この結果、ライツ事業の売上高は1,810百万円(前年同期比52.1%増)、営業利益960百万円(前年同期比51.8%増)となりました。

#### (スポーツ事業)

スポーツ事業におきましては、スポーツに係る番組の取扱が減少し、前年同期に比べ売上高及び営業利益が減少しております。

この結果、スポーツ事業の売上高は429百万円(前年同期比39.8%減)、営業利益34百万円(前年同期比18.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

〈資産、負債及び純資産の状況〉

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ678百万円増加し、16,546百万円となりました。主な要因は、売上債権の増加428百万円及び前渡金の増加136百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ72百万円増加し、3,448百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少289百万円及び未払法人税等の増加406百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ605百万円増加し、13,098百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加397百万円及び自己株式の減少99百万円等であります。

〈キャッシュ・フローの状況〉

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ69百万円減少し、10,860百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は497百万円（前年同期は135百万円の獲得）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,644百万円、売上債権の増加額428百万円、仕入債務の減少額289百万円及び法人税等の支払額301百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は178百万円（前年同期は285百万円の獲得）となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入141百万円及び関係会社出資金の払込による支出300百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は389百万円（前年同期は601百万円の使用）となりました。主な要因は、自己株式の取得による支出146百万円及び配当金の支払額238百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月20日付で発表、修正いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,930,259	10,860,564
受取手形及び売掛金	2,292,339	2,720,812
商品	205	269
仕掛品	12,110	11,591
貯蔵品	4,864	3,328
繰延税金資産	55,121	74,084
その他	90,122	225,131
貸倒引当金	△7,010	△8,753
流動資産合計	13,378,012	13,887,028
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	52,216	50,373
車両運搬具(純額)	1,079	809
工具、器具及び備品(純額)	13,051	11,974
土地	322,711	322,711
有形固定資産合計	389,060	385,870
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,483,723	1,449,681
繰延税金資産	266,964	193,601
その他	287,523	568,435
貸倒引当金	△1,180	—
投資その他の資産合計	2,037,030	2,211,718
固定資産合計	2,490,639	2,659,838
資産合計	15,868,651	16,546,867

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,365,484	2,076,422
未払法人税等	297,864	704,184
賞与引当金	34,200	34,454
その他	189,064	156,696
流動負債合計	2,886,614	2,971,757
固定負債		
退職給付引当金	69,702	69,654
その他	419,874	406,996
固定負債合計	489,577	476,651
負債合計	3,376,191	3,448,408
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	414,750	414,750
資本剰余金	391,240	391,240
利益剰余金	11,911,330	12,309,093
自己株式	△300,224	△200,378
株主資本合計	12,417,095	12,914,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△136,124	△77,552
その他の包括利益累計額合計	△136,124	△77,552
少数株主持分	211,490	261,306
純資産合計	12,492,460	13,098,458
負債純資産合計	15,868,651	16,546,867



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
売上高	7,090,880	8,699,061
売上原価	5,738,831	6,610,777
売上総利益	1,352,049	2,088,283
販売費及び一般管理費	446,229	430,885
営業利益	905,819	1,657,398
営業外収益		
受取利息	368	282
受取配当金	16,841	9,010
持分法による投資利益	8,703	—
匿名組合投資利益	5,188	6,346
投資事業組合運用益	6,167	9,875
その他	3,412	5,432
営業外収益合計	40,682	30,946
営業外費用		
支払手数料	3,204	2,507
上場関連費用	4,449	3,742
その他	3	100
営業外費用合計	7,656	6,350
経常利益	938,845	1,681,994
特別利益		
投資有価証券売却益	1,550	—
特別利益合計	1,550	—
特別損失		
固定資産除却損	6,590	—
投資有価証券売却損	107,142	36,248
投資有価証券評価損	—	856
会員権売却損	—	500
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,120	—
特別損失合計	114,852	37,604
税金等調整前四半期純利益	825,542	1,644,389
法人税、住民税及び事業税	336,557	703,273
法人税等調整額	15,583	4,620
法人税等合計	352,140	707,894
少数株主損益調整前四半期純利益	473,401	936,495
少数株主利益	36,023	54,248
四半期純利益	437,377	882,247

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	473,401	936,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109,133	58,609
その他の包括利益合計	109,133	58,609
四半期包括利益	582,534	995,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	546,563	940,820
少数株主に係る四半期包括利益	35,970	54,284

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	825,542	1,644,389
減価償却費	20,596	16,862
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,865	562
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,868	254
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△10,802	△47
受取利息及び受取配当金	△17,210	△9,292
持分法による投資損益(△は益)	△8,703	—
売上債権の増減額(△は増加)	288,419	△428,472
たな卸資産の増減額(△は増加)	17,736	1,991
仕入債務の増減額(△は減少)	△648,500	△289,062
その他	56,802	△146,819
小計	540,613	790,365
利息及び配当金の受取額	17,232	9,300
法人税等の支払額	△421,894	△301,961
営業活動によるキャッシュ・フロー	135,951	497,704
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△446	—
無形固定資産の取得による支出	△14,798	△12,974
投資有価証券の取得による支出	△600	△25,852
投資有価証券の売却による収入	289,700	141,036
関係会社出資金の払込による支出	—	△300,000
その他	11,681	19,484
投資活動によるキャッシュ・フロー	285,536	△178,305
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△348,813	△146,518
配当金の支払額	△251,104	△238,108
少数株主への配当金の支払額	△1,276	△4,468
財務活動によるキャッシュ・フロー	△601,193	△389,094
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△179,705	△69,695
現金及び現金同等物の期首残高	9,987,267	10,930,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,807,561	10,860,564

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成23年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア事業	ライセンス事業	スポーツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,187,723	1,190,014	713,142	7,090,880	—	7,090,880
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,187,723	1,190,014	713,142	7,090,880	—	7,090,880
セグメント利益	278,710	632,545	42,704	953,960	△48,140	905,819

(注) 1. セグメント利益の調整額△48,140千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものは、管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア事業	ライセンス事業	スポーツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,459,164	1,810,334	429,562	8,699,061	—	8,699,061
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,459,164	1,810,334	429,562	8,699,061	—	8,699,061
セグメント利益	708,356	960,113	34,813	1,703,283	△45,885	1,657,398

(注) 1. セグメント利益の調整額△45,885千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものは、管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(自己株式の取得)

当社は、平成24年1月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を取得することを決議し、当第2四半期連結累計期間において普通株式100,000株を取得しました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が146,501千円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、平成24年2月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を消却することを決議し、平成24年2月27日付で普通株式200,000株を消却しました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ246,363千円減少しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。